

みてみよう! くふうしよう! ちょうせんしよう!

キンダブック 7月号



表紙の絵から

今月の表紙は、日本昔話より「浦島太郎」です。乙姫様のいる竜宮城のまわりにはタコやヒラメ、イソギンチャクなど海の生き物がいっぱい! 環境コーナーに登場するリュウグウノツカイも描かれています。「知っている海の生き物はいるか?」などと話題を広げ、探して楽しみましょう。

みてみよう!
かんきょう
身のまわりのしくみや
不思議を知ろう

ようこそ! しんかいへ

➤ねらい 深海とはどのような場所で、どんな生き物がいるのかを知らせます。

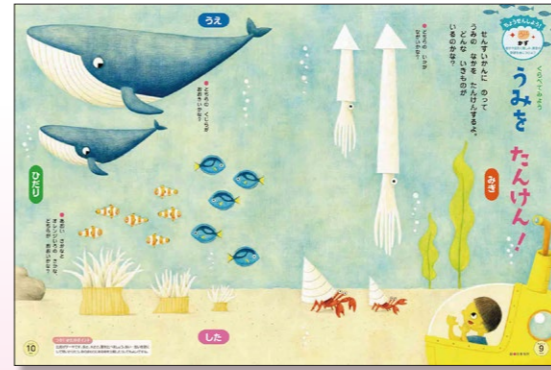
太陽の光が届かないということは、常に暗くて冷たい場所ということ。そのような過酷な環境で生活する生き物にはどんな特徴があるのか話し合い、興味を促してみよう。



より深い海では、過酷な環境を生き抜くために適応した不思議な生き物がいます。まだまだわかっていないこともたくさんあります。深海に棲んでいそうな生き物を想像して絵に描いて、発表し合ってもおもしろいかもしれません。

うみを たんけん!

ちょうせんしよう!
かず
数字や図形に親しみ、算数の基礎を身につけよう



➤ねらい 誌面をよく見て、長さや大きさ、数などを比べることを楽しみます。

➤つかい方のポイント 海の生き物についてどこが違うのか問かけ、見比べていきます。誌面をよく見て比較して判断することによって、観察力や比較方法を身につけられるとよいですね。また、上下・左右などの概念を意識しながら話を進めていきましょう。

くふうしよう!
プログラミングの
かんがえがた
想像を立てて絵筆を
動かす力を伸ばそう

ここは なにいろ?



➤ねらい 色の繰り返しに気づき、正しい色の順番を考えます。

➤つかい方のポイント 説明を見ながらどんな順番で塗ればよいかみんなで考えましょう。32ページの旗と説明を見比べると、上から順に塗っていることがわかります。声に出したり、指を差したりしながらひとつずつついでに色の順番を確かめましょう。

「がくしゅうおおぞら」を 保育にご活用ください!

しんかいせいこつコーナーの
ちゃんとノートの表紙と
15~16ページの誌面画像が
ダウンロードできます!



<https://kinderbook.roebel-kan.co.jp/DL/om>

絵本をつかった指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
<p>みてみよう! かんきょう 身のまわりのしくみや 不思議を知ろう</p> <p>「ようこそ! しんかいへ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●深海の環境について知る。 ●深海にはどのような生き物がいるか興味をもつ。 ●深海に似そうな生き物を想像し、絵やことばで表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「太陽の光が届かない環境」とは具体的にどんな環境なのか、身近な事象や経験をもとに考えられるよう援助していく。 ●子どもたちの興味や学びが深まるよう、深海生物が載っている図鑑や絵本を用意する。 ●子ども一人ひとりの発想や表現を認め、そのおもしろさに共感していく。 	<p>環境</p> <p>表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●社会生活との関わり ●思考力の芽生え ●自然との関わり・生命尊重 ●豊かな感性と表現
<p>ちょうせんしよう! かず 数字や図形に親しみ、算数の基礎を身につけよう</p> <p>「うみを たんけん!」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長さや大きさ、量を比べることを楽しむ。 ●上下左右の概念に気づき、声に出して確かめてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●誌面をよく見ながら比較ができるよう注意を促していく。 ●比較することで、その生き物の違いに気づけるよう援助する。 ●上下左右を用いながら話を進めていくことで、子どもたちの興味、関心を引き出していく。 	<p>環境</p> <p>言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力の芽生え ●数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ●言葉による伝え合い